

観光庁予算の事業仕分けの結果(11月15日)

① 訪日旅行促進事業(ビジット・ジャパン事業)(要求額8,867百万円)

※特別枠(中国市場でのプロモーション)以外(6,307百万円)

→予算の3分の1縮減

(委員の意見)予算計上見送り1名、予算の縮減10名(半額:4名、3分の1縮減:3名、
2割縮減:1名、1割縮減:1名)、現状維持:1名

(委員の指摘事項)効果測定が不十分、広告宣伝費のあり方を見直すべき、
施策の重点化を図るべき 等

※特別枠(中国市場プロモーション:2,560百万円)

事業内容の見直し:11名

→事業内容の見直し

② MICE の開催・誘致の推進(要求額443百万円)

→予算計上の見送り

(委員の意見)廃止3名、予算計上見送り2名、

予算の縮減6名(半額:1名、3分の1縮減:3名、1割縮減:2名)、現状維持:1名

(委員の指摘事項)事業の費用対効果が疑問、施策の重点化を図るべき 等

③ 観光地域づくりプラットフォーム支援事業(要求額542百万円)

→予算の半減+抜本的な事業の見直し

(委員の意見)廃止3名、予算計上見送り3名、

予算の縮減6名(半額:4名、3分の1縮減:1名、2割縮減:1名)

(委員の指摘事項)効果測定が不十分、目標の設定が非現実的 等

④ 着地型旅行商品流通促進支援事業(要求額30百万円)

ユニバーサルツーリズムネットワーク構築支援事業(要求額30百万円)

スポーツ観光支援事業(要求額30百万円)

→事業の廃止

(委員の意見)廃止8名、予算計上見送り2名、予算縮減1名(半減)、現状維持1名